

クラウドストレージ移行の必要性

～Windows Server 2012のEOSによるリスクとDropboxの利点～

SCSK株式会社
西日本ITマネジメント事業本部
クラウドエンジニアリング部
2023年5月吉日

Windows Server 2012 / 2012 R2の終了およびそのリスク

2023年10月にてWindows Server2012 / 2012 R2がサポートし、対策が求められる状況が迫ってきております

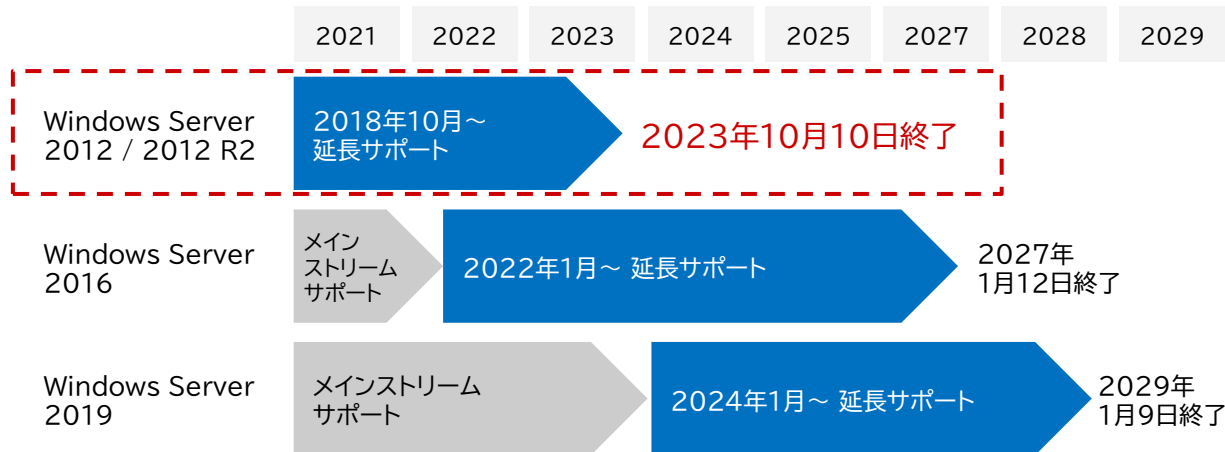
Windows Server サポート終了期間

サポート終了前に対応が必要



2023年10月10日サポート終了

延長サポートフェーズも終了し、既存のシステム環境の対応が必要な状況



移行しないリスク

サポート終了OSを使い続けるリスク



セキュリティ更新プログラムが提供終了

サイバー攻撃の標的リスクが高くなり、脆弱性を狙った社内システム不正侵入や情報漏えい等の脅威に



サポート窓口の終了

障害時のサポートが受けられず、またドライバーなども提供が終了し解決手段がなくなり、ビジネスへの影響を与えます



DX推進の妨げ

サポート終了やハードウェアの老朽化により、継続的なビジネスに適したスピードや環境の利活用が困難になります

ファイルサーバーをクラウド化（Dropboxへの移行）を推奨する理由

世界 7億超のユーザー数、60万以上のチームに選ばれている Dropbox

OSサポート終了 からの脱却

OSのサポート終了の度にインフラの刷新や移行検討などの回避

Windows 2012 EOSの次には
Windows 2016 EOSがやってきます

クラウドのDropboxへ移行することで
このような常態化した課題を避けられます

サーバーの運用管理 負担の低減

オンプレミスでは不可欠であったハードウェアのメンテや部品の調達、リプレイスといった工数が不要になります

不足する度にコストを捻出していたストレージ容量の追加も不要です

本来の業務に専念できます

セキュアかつ 生産性向上

動画や写真などの大容量ファイルを素早く安全に共有できます

データ送受信や保存時もデータが暗号化され、業務環境に安全です

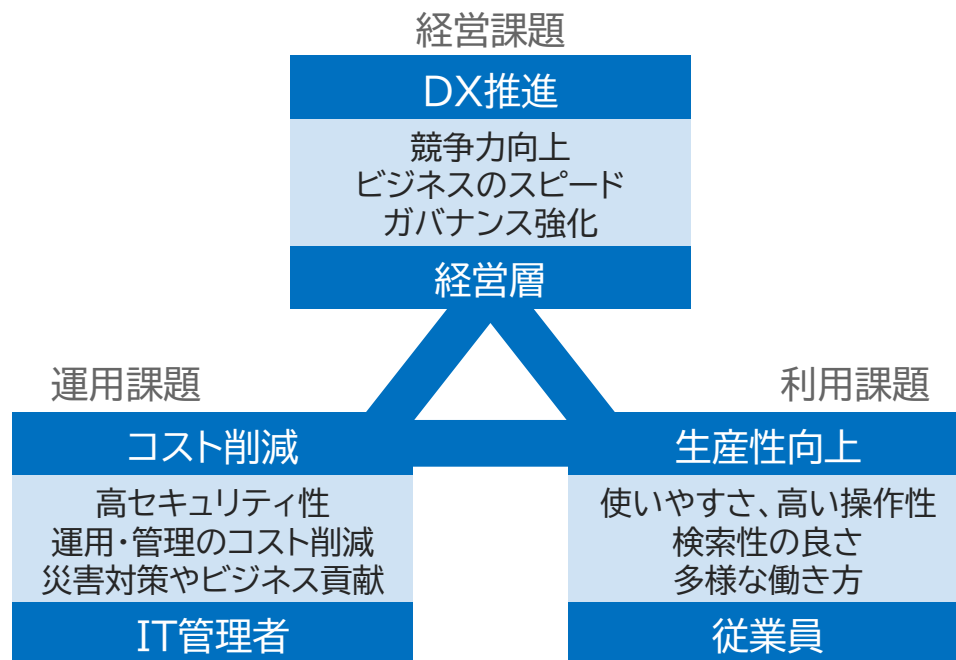
オフィスやリモート環境からのアクセスが可能で他アプリ連携も充実しています

ファイルサーバー用途のWindows Server 移行先候補は Dropbox

利用するファイルサーバーの選択肢として、クラウド（SaaS）なら Dropbox です。

それぞれの視点での検討課題

すべての立場に効果のあるソリューション



SaaS - Dropbox の利点

最適なファイルサーバー環境の選択を

	提供する機能の例	オンプレ	IaaS	Dropbox
アプリ	検索機能	要	要	不要
	業務データバックアップ	要	要	不要
	データ転送・ファイル共有	要	要	不要
OS	z論理ディスク管理	要	要	不要
	ユーザ・グループ管理	要	要	不要+AD連携可
	OSセキュリティ管理	要	要	不要+SSO連携可
	システム稼働監視	要	要	不要
	システムバックアップ	要	要	不要
	OSメンテナンス（パッチ適用等）	要	要	不要
HW	リプレイス・バージョンアップ	要	不要	不要
	ハードウェア保守・メンテナンス	要	不要	不要
	ストレージ容量の追加	要	不要	不要

要	作り込みや別サービスが必要
不要	作り込みや別サービスは不要

ファイルサーバーのクラウド移行にDropboxを採用

重要なデータの消失や欠損は防がなければなりません。Dropboxのファイルの巻き戻し機能は使い勝手が優れており、長期間でも戻せるため、採用の決め手になりました。



株式会社イハラ製作所
脱・オンプレミスでデータ消失の不安を解消
今後はファイル共有、タスク管理機能の活用も進め
クラウドストレージでビジネスを推進していく

データ復元作業の短縮 データの保護・消失防止

従来は数日かかっていたデータ復元作業が5分程度に短縮できました。無制限のバージョン履歴保管は対象期間が365日間と長く、消失した重要データも簡単に復元可能です。

ファイルサーバーの 一元管理および負荷低減

アカウントやアクセス権限の追加・削除など一元管理が可能です。オンプレと異なり、ハードウェア機器の管理・更新やディスク容量も実質的に容量無制限のため、動画や写真も気にせず保管できるようになり、管理負荷が軽減されました。

ファイル共有の活用が増えて 生産性向上などDX推進

大容量ファイルの社外共有にDropbox Transfer、製品開発などのプロジェクト管理にDropbox Paperを活用など社内DX推進に貢献できました。

容量課金ではない、一定コストのDropboxで飛躍的に業務効率をあげることができます。

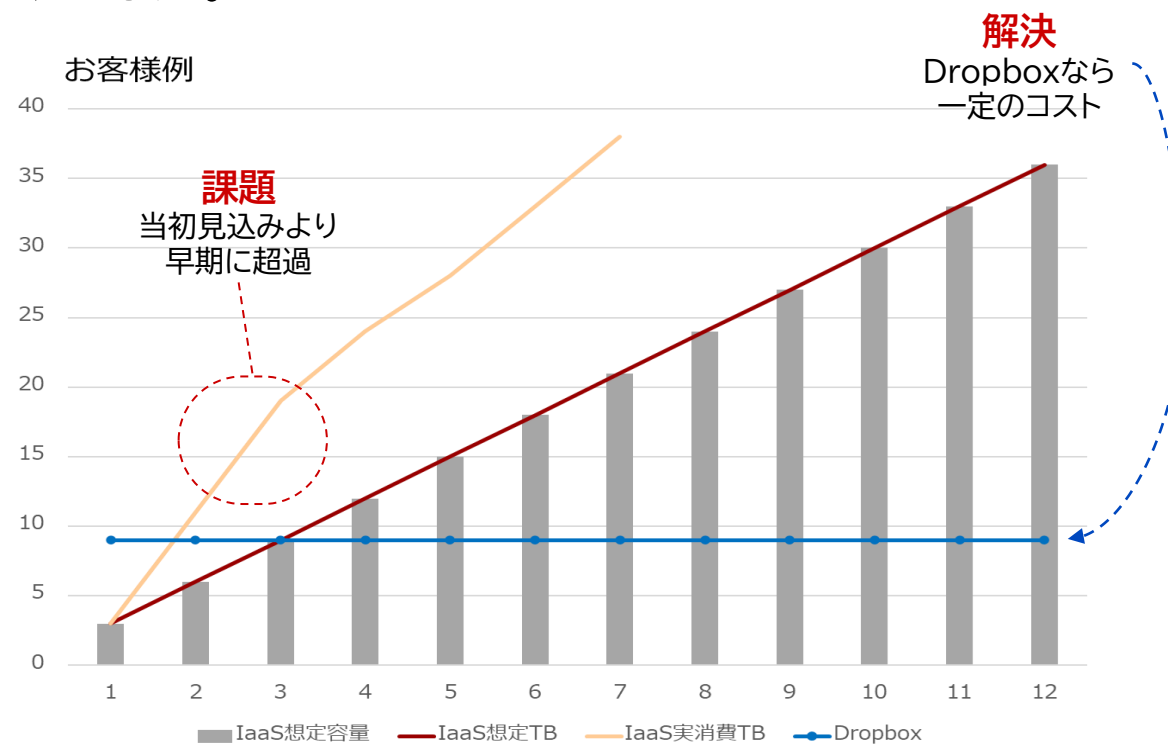
IaaSではビデオ会議の録画データやビデオマニュアル等の容量を消費する動画を多数利用していましたが、Dropboxに移行したことで業務効率化を実現できました。当初の想定よりも早く想定を超過してしまいましたが、Dropboxにより一定のコストで利用可能になりました。

一定のコスト
で利用可能

現場の写真データや設計図などがあり、IaaSの試算では3ヵ月で9TBを超える想定でしたが、実際はわずか28日で9TBを超過。Dropboxは一定のコストで、実質容量無制限なので容量を気にせず利用可能です。

社内DX推進

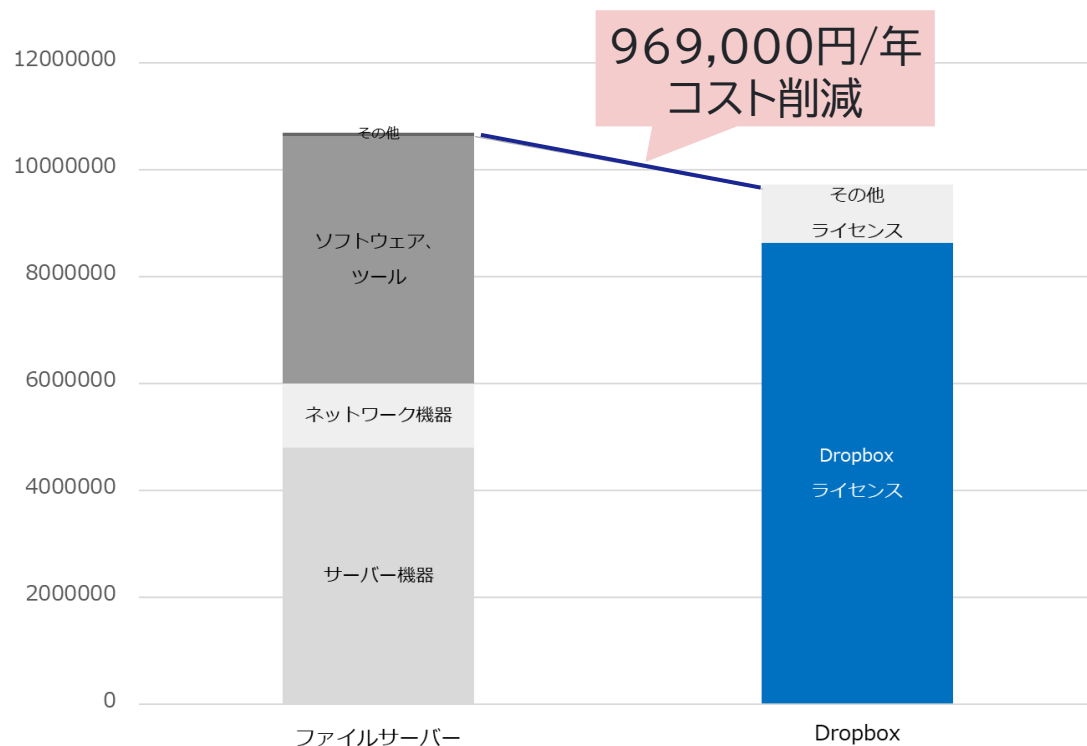
ビデオマニュアル、現場施工状況の録画、現場で発生した事故状況の録画など、高画質なデータの利用と共有をすることによって、飛躍的に業務効率をあげることができました。



お客様の費用対効果の一例

継続的に使うファイルサーバーだからこそ、Dropbox導入の費用対効果を期待できます。

全体のコストで費用対効果を試算することがベストです。
一部分の項目だけや短い期間での試算よりも、長期(年間や複数年)でかつ掛かるコスト全体で検討されることを推奨いたします。



効果

- 年間 969,000円のコスト削減
- 物理機器の保守コスト削減
 - リプレース、日々のメンテ、部品調達
- ランサムウェア対策実施
- 生産性向上
 - 大容量の動画や写真等のファイル共有の利便性向上

おもな状況

- ファイル容量 10TB
- 従業員数 約300名
- バックアップや冗長化

Dropbox Businessのプラン

お客様の会社規模やニーズにあった法人向けライセンスプランを選択ください

	Standard (¥ 18,000/年/ユーザー)	Advanced (¥ 28,800/年/ユーザー)	Enterprise (¥ 30,000円/年)	Education (¥ 5,000円/年)
Dropboxのコア機能				
ストレージ容量	5TB(1チーム)	必要なだけ	必要なだけ	15GB(1人)
日本データセンター	○	○	○	○
バージョン履歴とファイルの復元	180日	365日	365日	180日
スマートシンク	○	○	○	○
高度な共同作業及び生産性向上				
ファイルロック(排他制御)	○	○	○	○
共有権限の詳細設定	○	○	○	○
Dropbox Transfer (ファイル転送機能)	2GB	100GB	100GB	100GB
無料ユーザーとの容量との容量無制限フォルダ共有	—	—	○	—
AutoCADファイルプレビュー	—	○	○	○
ファイルサーバー的なフォルダ階層	○	○	○	○
強力な管理・セキュリティ機能				
デバイスの遠隔削除	○	○	○	○
2段階認証の要求	○	○	○	○
セキュリティアラートと通知	—	○	○	—
データー分類(個人情報検出)	—	○	○	—
ランサムウェアの検知	—	○	○	—
シングルサインオン(SSO)連携	—	○	○	○
ファイル単位の監査ログ	—	○	○	○
Transferのパスワード	—	○	○	○
Basicユーザーの利用制限	—	—	○	—
エンタープライズ コンソール	—	—	○	—
24×365エンタープライズサポート	—	—	○	—

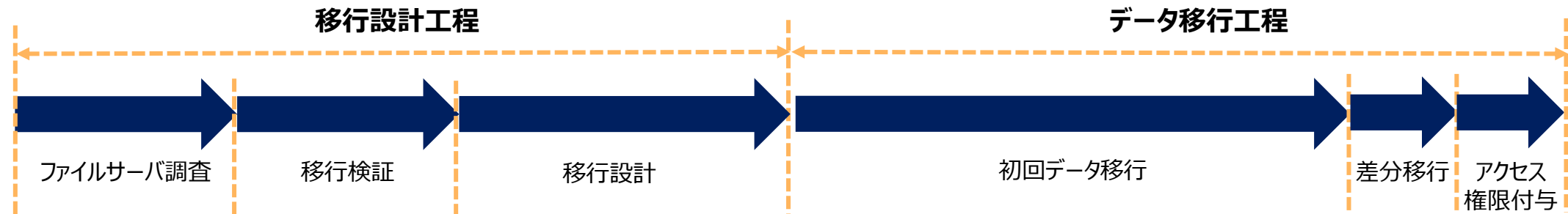
Standard / Advanced は最低3ユーザー様から利用可能です

ファイルサーバから Dropbox へのデータ移行の流れ

データ移行は、下図の順序で実施します。

10TB程度のデータ移行であれば、概ね**2カ月～3カ月程度**で移行を完了することができます。

SCSKでは、お客様のデータ移行もご支援いたしますので、安心してお任せください。



① ファイルサーバ調査

- ・ 移行対象ファイルサーバのフォルダ構成、各フォルダの容量、ファイル数、フォルダ数などを確認します

② 移行検証

- ・ ファイルサーバからDropboxクラウドストレージへのデータ転送速度を実データを使って計測します

③ 移行設計

- ・ Dropboxフォルダ構成
- ・ 移行元、移行先フォルダのマッピング
- ・ 移行先のアクセス権限
- ・ 移行スケジュール

④ 初回データ移行

- ・ ファイルサーバからDropboxへのデータ移行を開始
- ・ エンドユーザには、ファイルサーバを使った業務を継続
- ・ 移行中のデータアクセスを抑止するため、アクセス権限付与は行わない

⑤ 差分データ移行

- ・ 初回データ移行中に更新されたデータを、Dropboxに移行
- ・ この間、ファイルサーバ側の移行対象フォルダの更新を停止(凍結)して頂きます。

⑥ アクセス権限付与

- ・ 移行設計で決定したとおりに、データ移行先フォルダのアクセス権限を付与
- ・ エンドユーザのアクセス開始

Dropbox は安心・安全なファイルの保管庫としてファイルサーバ用途としてご利用いただけます。

Dropbox は、以下のような機能・活用方法でスマートな働き方を実現します。

- ✓ 社内外との安全な情報共有（脱PPAPも）
- ✓ 会議やチーム作業の記録保管、情報共有（Dropbox Paper活用）
- ✓ 他システム連携を活用した業務効率改善

安全・安心なファイルの保管庫

(File Server)



共同作業のプラットフォーム

(Collaboration Tool)



SCSKでは、ライセンスの販売だけでなく、Dropboxへの移行サービスとしてデータ移行なども提供しております。

加えて、Dropboxを安全かつ効率的にご活用いただけるような仕組みとして「Dropbox Automation」を今後提供していく予定です。

\ Dropboxの日本初のサービスパートナー /



SCSKは、今後のクラウドファーストの流れ、Dropboxの使い易さから
Dropboxへファイルサーバを移行する事による様々な効果、働き方改革につながると
判断し、企業への導入支援を行うサービスパートナーとなっております。

導入実績**50社以上**

導入のご相談から導入後の
サポートまで一貫してご支援

APIを使った開発支援

SCSKが提供するDropbox導入支援サービス



テナント 初期設定	お客様の要件を確認し、設定パラメータの設計、初期設定を行います。
ID同期 環境構築	既存のDirectoryサーバのアカウントとDropboxアカウントを同期する環境を構築します。標準では、Active Directoryとの同期環境を構築します。
認証連携 環境構築	ADFSや認証プロバイダー(IDaaS)を利用したシングルサインオン環境を構築します。 (サポート環境) Azure AD, ADFS/WAP環境, CloudGate UNOなど
共有フォルダ 設計支援	Dropboxのアクセス制限機能やパフォーマンス要件を考慮した、フォルダ階層やアクセス権限の設計を支援します。
データ移行	現在お使いのファイルサーバ、NASに保存されている共有フォルダをDropboxへ移行します。

トレーニング	Dropbox利用者、管理者向けの教育を行います。 オプションで、お客様利用方法に則したエンドユーザ展開用マニュアル作成を行います。
APIツール開発	Dropbox APIを使い、Dropboxをより便利に利用するツールや運用管理ツールなどを開発します。
導入後 技術支援	Dropbox導入後、Dropboxの利用方法や管理方法などの技術支援を行います。
大規模組織改変 対応ツール	ユーザ、グループ、チームフォルダの組織改変に合わせて自動連携するツールの提供及び自動連携環境のインテグレーションを行います。
個人アカウント 制御	個人アカウント制御する環境を構築するサービス (Enterprise版が必要)
大規模 展開支援	全社展開計画作成、実施支援を行います。 事前説明会、事前勉強会の企画・開催 全社員向けの説明会、勉強会の企画・開催

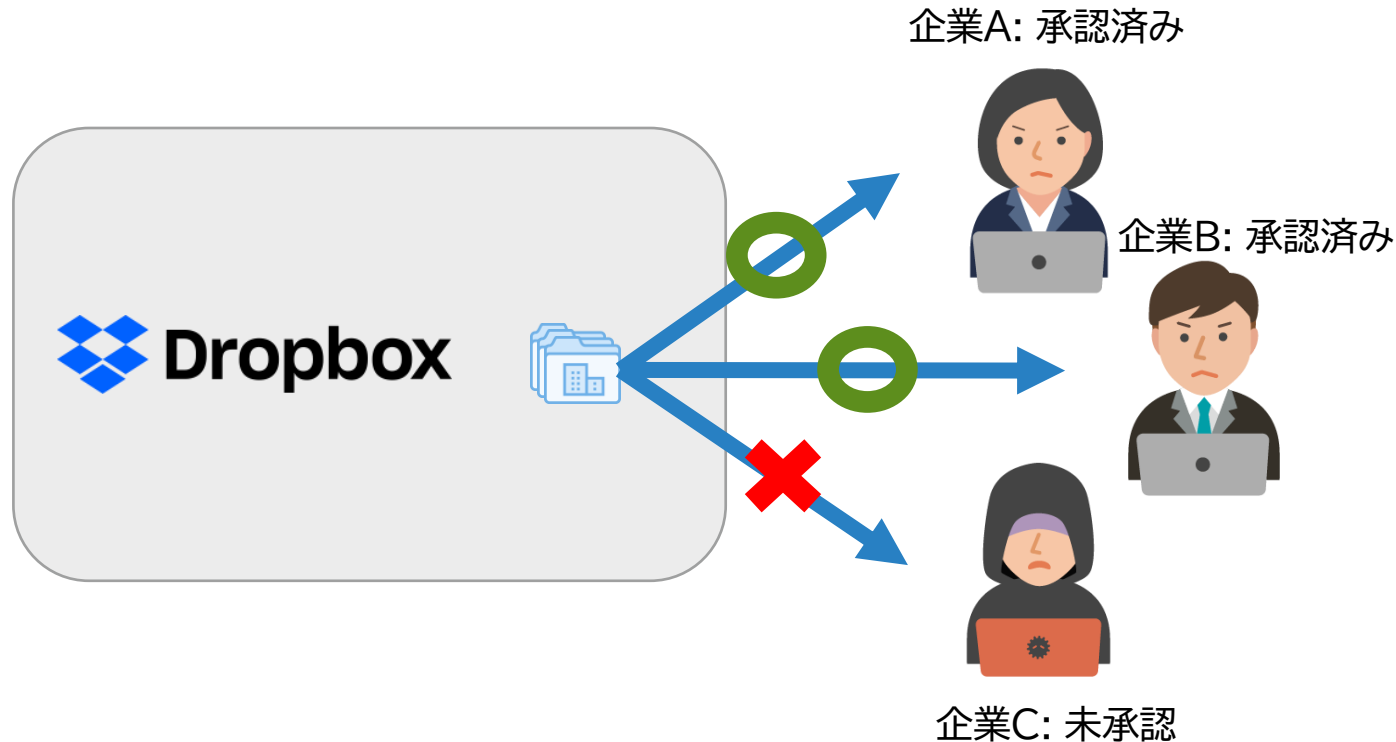
 ...準備中のサービス

SCSKが提供するDropbox用Automationツール

– 外部共有管理ツールの例

Dropboxは、単なるファイルの保管庫としてだけでなく、共同作業のプラットフォームとしても活用が可能です。一方で、利用者が好き勝手に社外と共有を行うことで、本来社外に共有するべきではない情報まで漏れてしまう可能性があります。

外部共有管理ツールは、承認された企業にのみに対して共有フォルダを許可し、安全に社外共有を実現するものです。



共有に関する課題

- × 個人の判断で勝手に共有がされている
- × 何が誰に共有されているのかわからない
- × 共有が必要な情報だけが共有されているのか判断できない
- × 既に共有が不要な情報がいつまでも共有されたままになっている

外部共有管理ツールでの対策

- ✓ 外部共有を行う際には組織としての許可を得て行う
- ✓ 外部共有状況を定期的に自動でチェック
- ✓ 外部共有用のフォルダは承認後自動作成され権限を付与
- ✓ 未承認の外部共有は自動で共有解除

SCSKにおけるDropboxお客様事例

公開事例)

朝日放送株式会社様
追手門学院大学様
東急建設株式会社様
SCSK株式会社

非公開事例)

公開事例含め、約60社ほどの導入実績が御座います。
主な導入実績は、以下となります。

公開事例	会社名	利用用途	Dropbox ユーザ数	社員数 (概算)	備考
○	朝日放送株式会社様	社外との情報共有と外出先でのストリーミング	320	670	
○	追手門学院大学様	学生・教職員向けファイルサーバ	10,000	10,000	
○	東急建設株式会社様	全社ファイルサーバ、現場NAS(350TB)	4,000	2,500	140TB移行完了
○	SCSK	部門ファイルサーバ、顧客DXプロジェクト他	4,300	13,979	
	建設	全社ファイルサーバ、現場NAS	2,500	2,000	順次全社展開中
	大学	教職員向けファイルサーバ	300	6,000	
	大学	全学向けファイルサーバ	2,500	2,500	
	建設	全社ファイルサーバ、現場NAS	7,300	7,300	
	建設	全社ファイルサーバ、現場NAS	1,000	1,000	
	建設	全社ファイルサーバ、現場NAS	1,700	2,000	
	建設	現場NAS	800	600	
	製造業	全社ファイルサーバ	700	400	

※大学の社員数は、教員、学生を含む



テレビ、ラジオの放送局として数多くの人気番組を全国に届けている、朝日放送株式会社では、社外との情報共有と外出先でのストリーミングが行えるクラウドストレージとしてDropbox Businessを採用。
現場の利便性を向上しながら、監査要求にも応えられる利用制御も実現しています。



追手門学院大学

ICTを活用した教育の基盤となるファイル共有環境を実現

新キャンパス開設を機に BYOD を本格導入し
デジタル時代を担う優秀な人材の育成を目指す



東急建設

ファイルサーバー上の膨大なデータを
Dropbox に統合

社内はもとより社外のステークホルダーとも
自由かつ安全に情報連携できる新たな基盤を
構築

SCSK

夢ある未来を、共に創る。